

作成日 2024/04/01

改訂日

## 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 5%苛性ソーダ  
供給者の会社名称 サンワ化学株式会社  
住所 静岡県袋井市浅羽2777-1  
担当部門 品質保証部  
電話番号 0538-23-6611  
FAX番号 0538-23-7918  
推奨用途 工業用一般  
使用上の制限 推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家/化学物質専門家等の判断を仰ぐこと。

2. 危険有害性の要約  
化学品のGHS分類

健康有害性 皮膚腐食性/刺激性 区分1  
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分1  
特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分2(呼吸器)  
上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

## GHSラベル要素

## 絵表示



注意喚起語 危険  
危険有害性情報 H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷  
H371 呼吸器の障害のおそれ

注意書き  
安全対策 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。(P260)  
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)  
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)

応急措置 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。(P301+P330+P331)  
皮膚又は髪に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。(P303+P361+P353)  
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)  
直ちに医師に連絡すること。(P310)  
特別な処置が必要である。(P321)

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名

水酸化ナトリウム

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
水酸化ナトリウム	5%	NaOH	(1)-410	既存	1310-73-2
水	95%	H2O	-	-	7732-18-5

#### 4. 応急措置

吸入した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。  
ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。  
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。  
ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。

眼に入った場合

直ちに医師に連絡すること。  
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。  
飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。  
ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。

#### 5. 火災時の措置

適切な消火剤

この製品自体は、燃焼しない。

使ってはならない消火剤

情報なし

火災時の特有の危険有害性

燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。

特有の消火方法

消火作業は、風上から行う。  
周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。  
火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

関係者以外は安全な場所に退去させる。  
消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。

環境に対する注意事項  
封じ込め及び浄化の方法  
及び機材

多量の場合、人を安全な場所に退避させる。  
必要に応じた換気を確保する。  
漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。  
少量の場合、吸着剤(土・砂・ウエスなど)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾などでよく拭き取る。大量の水で洗い流す。  
多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラムなどに回収する。  
付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。  
床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。  
漏出物の上をむやみに歩かない。

二次災害の防止策

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。  
蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。  
取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

	安全取扱注意事項	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。 粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
保管	接触回避 安全な保管条件	『10. 安定性及び反応性』を参照。 『10. 安定性及び反応性』を参照。 施錠して保管すること。
8. ばく露防止及び保護措置 設備対策		蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
保護具	呼吸用保護具	リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な呼吸用保護具を選択し、着用すること。
	手の保護具	状況に応じて、不浸透性、不透過性の保護手袋等適切な保護具を着用すること。 リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な保護手袋を選択し、着用すること。
	眼、顔面の保護具	リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な眼および顔面の保護具を選択し、着用すること。
	皮膚及び身体の保護具	状況に応じて、不浸透性、不透過性の保護衣、履物等適切な保護具を着用すること。 リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な保護衣、履物を選択し、着用すること。
9. 物理的及び化学的性質		
物理状態		液体
形状		透明液体
色		無色
臭い		無臭
融点／凝固点		-15°C(5%)
沸点又は初留点及び沸点		102°C(5%)
範囲		
可燃性		可燃性なし
引火点		引火せず
分解温度		データなし
pH		強アルカリ性
動粘性率		データなし
溶解度		水に易溶
蒸気圧		データなし
密度及び／又は相対密度		1.05(5%, 20°C)
10. 安定性及び反応性		
反応性		通常の手扱い条件では安定である。 酸と反応し発熱する。 水で希釈すると希釈熱を発生する。 アルミ、すず、亜鉛、クロムなどの金属と反応して水素を発生し、引火爆発する可能性がある。
危険有害反応可能性		
混触危険物質		酸、金属類。
11. 有害性情報		
急性毒性	経口 経皮 吸入	データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 (気体) GHS定義による気体ではない。

		(蒸気) データ不足のため分類できない。
		(粉じん・ミスト) データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性／皮膚刺激性 眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性 呼吸器感作性 皮膚感作性		区分1の成分合計が5%のため、区分1とした。 眼区分1の成分合計が5%のため、区分1とした。
生殖細胞変異原性		データ不足のため分類できない。 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
発がん性 生殖毒性		データ不足のため分類できない。 (生殖毒性) データ不足のため分類できない。 (生殖毒性・授乳影響) データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 誤えん有害性		区分1(呼吸器)の成分が5%のため、区分2(呼吸器)とした。 データ不足のため分類できない。
12. 環境影響情報		
水生環境有害性 短期(急性)		(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が5%のため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
水生環境有害性 長期(慢性)		(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
生態毒性 残留性・分解性 生体蓄積性 土壤中の移動性 オゾン層への有害性		データなし データなし データなし データなし データ不足のため分類できない。
13. 廃棄上の注意		
残余廃棄物		廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
汚染容器及び包装		内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
14. 輸送上の注意		
国際規制	海上規制情報 UN No. Proper Shipping Class Packing Group	IMOの規定に従う。 1824 水酸化ナトリウム(水溶液) 8 Ⅲ

	Marine Pollutant	Not applicable
	Liquid Substance	Not applicable
	Transported in Bulk	
	According to	
	MARPOL 73/78,	
	Annex II, the IBC	
	Code	
国内規制	航空規制情報	ICAO/IATAの規定に従う。
	UN No.	1824
	Proper Shipping	水酸化ナトリウム(水溶液)
	Class	8
	Packing Group	III
	陸上規制	非該当
	海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
	国連番号	1824
	品名	水酸化ナトリウム(水溶液)
	クラス	8
容器等級	III	
海洋汚染物質	非該当	
MARPOL 73/78 附属	非該当	
書II 及びIBC コードに		
よるばら積み輸送さ		
れる液体物質		
航空規制情報	航空法の規定に従う。	
国連番号	1824	
品名	水酸化ナトリウム(水溶液)	
クラス	8	
等級	III	
緊急時応急措置指針番号	154	
15. 適用法令		
労働安全衛生法		名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号～第2号別表第9)
		名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第1号～第2号別表第9)
		水酸化ナトリウム(政令番号:319)(5%)
		腐食性液体(労働安全衛生規則第326条)
		皮膚等障害化学物質等・皮膚刺激性有害物質(安衛則第594条の2第1項、令和4年5月31日基発0531第9号、令和5年7月4日基発0704第1号・4該当物質の一覧)
		水酸化ナトリウム
毒物及び劇物取締法		非該当
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)		非該当
労働基準法		疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1)
16. その他の情報		
参考文献		NITE
その他		記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づき作成していますが、情報の正確さ、安全性を保障するものではありません。未知の有害性があるため、取り扱いには細心の注意が必要で、ご利用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願い致します。